



▲甲子園に向けて抱負を話す松井君



▶野球部は激励金を受け取った。

7月31日午前11時頃から彦根市役所で本校野球部の激励会が行われた。市役所職員だけでなく多くの市民が集まったなか、野球部は大久保貴市長や議会の八木嘉之議長などから激励を受けた。またそれを受けて監督の村中隆之先生や主将の松井拓真君（3ー5）が挨拶や甲子園への抱負を話した。

続いての大久保市長の激励では「大いに赤鬼旋風を巻き起こしてください」と、八木議長は「感謝の気持ちをもって精一杯プレーしてください」といった激励の言葉が野球部に送られた。またその後は来賓紹介や市長と議長からの激励金の贈呈が行われた。

次に野球部主将の松井君が挨拶を行った。松井君は挨拶のなかで「本校の初勝利、初優勝を目指して滋賀県を代表して精一杯戦っていききたい」と意気込んだ。

その後、村中先生が挨拶され、野球部の今までの歩みとともに甲子園への思いを明かされた。先生は話の中で「ベンチに入っている人も入っていない人もみんなが繋がっている戦いだ」と大会を振り返られた。

本校の夏の甲子園初出場の年に校長であった善住喜太郎先生も激励会の場におられ、激励会での本校野球部の様子を見て「4年前と比べてみんなが自信を持っているように感じた。監督も前よりも落ち着いていた」と話された。野球部員に向けては「4年前に甲子園に忘れ物をしてきた。今年は1勝を拾ってきてほしい」とメッセージを送られた。

また激励会を見ていた人からは「表面は静かだったが、内側に闘志を感じた」という声が挙がった。



速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

彦根市役所で行われた激励会では大久保市長や八木議長が本校野球部に向けて激励の言葉や激励金を送られた。激励会の最初には本校の森田恭司校長が野球部の甲子園出場への道のりなどを説明された。最後に「今後ともご支援よろしく願います」と話された後には、拍手が起こった。



▲市長から激励の言葉を受ける野球部員たち